



ビジュアルデザイナー

株式会社 サンミング 代表取締役

黒川洋子



OMA

女性経営者シリーズ

“ビジュアルデザイナー ファッションデザイナー 黒川洋子”これは私がFWN交流会の方に教えていただいてやっているブログの名前である。弊社サンミングは今年10月20日で満23歳となった。現在は24年目に入っている。プレタポルテのメーカーで23年やっていると言えば“すごい！”と言われる。先日もモデルクラブのイケメン社長に言われた。何がすごいのか。それだけで存続するのが難しいビジネスということになる。常に新鮮な物を作り出せているかが勝負になっている。昨年と違う新しい商品を生み出す事。これは難しくもあり苦しくもあり楽しくもある。

今世界中が経済危機という中で益々ビジネスは厳しくなっていく。その中でもやはり新しい物で完成度の高い物は売れていく。今と昔の洋服はどう変っていったか？私は1974年に初めてデザイナーになったのだが当時はプレタポルテといえば殆んどスーツだった。私はサンミングを創立した23年前でさえもまだスーツが主流だった。それがビジネスの面から見れば売り上げが楽だった。今は単品コーディネート時代になったので単品それぞれのデザイン力も大きく求められるし、コーディネート力も求められる。

私はヨーロッパファッションが大好きで若い時からヨーロッパの物を買って研究したりしてきた。最近になって日本人とヨーロッパの人達の嗜好の違いを感じる。例えば、胸のあき具合、腕のだし具合、ウエストのだし具合、、、それはヨーロッパの人達は見せるファッションである。そして生地クオリティの高さは世界一と言われている。ファッション性では勿論ヨーロッパである。

弊社では、イタリアンテーストでつくっていると提唱しているが自分のアイデンティティは確か

に日本人である。年2回はヨーロッパに遊びに行つて多くの洋服を見る。関心もヨーロッパファッションだ、以前ジャパネスクをどこかに出さないといけないと無理に考えた時期もあったがそれは自然に任せればよいと思っている。今は日本でも洋服しか着ない生活になっているので洋服は衣服の文化になっている。

美しい洋服を着た日本人は美しい日本の風景に解け合っている。オフィスでもセンスのいい服を着て働いている。しかしナイトタイムは？パーティでは？昼間の洋服でそのまま行くよりドレスアップして遊んだら、、、夜は大人の男と女になってファッションを一步ステップアップすればもっと粋にファッションブルに自分を演出できる。遊びに酔える。ドレスを着たりおしゃれをして夜の世界を楽しめばもっと人生に酔える。非日常的な時間は新しい物作りをする活力になる。

今私はドレスを作るのが一番楽しい。一方ビジネスの中でこそ社員とのコミュニケーションはとても大切。私の作った洋服が好きで集まってくれた社員だ。自分の服作りの思いをどれだけ得意先に伝えてくれるかが鍵だ。この少人数で自分の思いを社員に浸透させていけるかが大きい。

“成長しないと意味がない。” “よい服を作ってお客様に酔って頂きたい。” そんな服作りをより長く続けていきたい。

プロフィール

平成元年 サンミング 創立

平成3年 株式会社 サンミング法人改組

事業内容 婦人服卸